

# ハローワーク半田 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

・主要指標項目である、就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標を達成するために、求職者向けの各種セミナーを開催（延べ660名の参加）や、プラスワン紹介の取組みの実施、また雇用保険受給者の支援については、給付制限期間中の期間を区切った相談日を設定したチラシや次回認定日に提出する相談シートの配布等により早期就職促進を図った結果、就職件数及び充足件数は目標達成ができました。しかし雇用保険受給者の早期再就職件数は、令和元年度上期の受給者実人員の減少も影響し目標を達成することができませんでした。

・障害者の雇用促進及び障害者雇用率の向上については、労働局の最重点課題として認識し、管内の全就労支援機関を対象にした連絡会議を開催し連携強化を図り、また障害者雇用に係る事業所向けセミナーについても、規模を拡大し開催。個別支援についても障害者0人雇用事業所を中心とした訪問指導や職場実習先とのマッチング等を積極的に行いました。

結果的には新型コロナウイルスの影響もあり、目標達成には少し至らなかったものの今後も障害者の就職件数の目標達成に向けた取り組みを行ってまいります。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所は総合受付が2階にあるため、庁舎1階で迷っている利用者が散見されました。この改善のため1階入口の庁舎案内図を目立たせるよう周囲の掲示物を撤去し、1階入口から2階総合受付までの床に導線を表示し、利用者に分かり易くなるよう改善を行いました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響により、求人数は大幅に減少しています。新型コロナウイルス収束後は、早期に管内事業所の景気状況等の把握に努め、「良質な求人確保」に向けた求人開拓や就職面接会等マッチングに向けた活動を積極的に行う必要があります。そのためにも、システム刷新により減少傾向となっている求職者確保も必要となるために、安定所の利用促進を図っていきます。

また、昨年下半年から開催している「上席・係長会議」でのサービス改善や業務改善の内容についても、積極的に検討を行います。

#### (4) その他業務運営についての分析等

・新型コロナウイルス感染拡大の影響以外にも、令和2年1月のハローワークシステム刷新により、求人申し込みを躊躇している事業所が散見されたことや求人情報提供端末が使いにくくなった（画面タッチからキーボード操作へ）ことが、今後の就職数・充足数に影響しないか留意が必要と思料されます。

・当所が管轄する知多半島は南北に長く、ハローワークから離れた南の地域では企業に対する支援が行き届かない傾向があり、引き続き自治体、商工会との連携を密にして、どのような支援が必要か検討をしていきます。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

## 4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給 者等の就職件 数	障害者の就職 件数	正社員求人数	正社員就職件 数	生涯現役支援窓 口での65歳以上 の就職件数
実績	3,621	2,992	1,514	33.2%	42.1%	129	270	14,616	1,803	133
目標	3,511	2,987	1,478	35.9%	44.8%	83	279	16,408	1,830	107
目標達成率	103%	100%	102%	92%	93%	155%	96%	89%	98%	124%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率